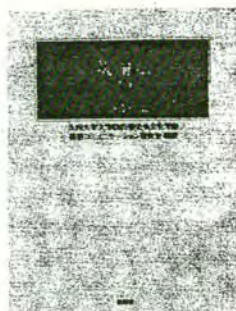


# 文化

s-bunka@asahi.com

『議論法』 G・ジーゲルミュラー、J・ケイ 著  
井上 奈良彦 監訳

ほん



## 議論とは何か 共通の理解を

とことん議論しよう。企業でも役所でも、そういう幹部は多い。しかし、どうやって議論したらいいのか、実は我々はわかっていないのではないか。そもそも、議論とは何かについて、共通の理解があるだろうか。

九州大ではディベート研

究、さらには「議論学」の研究が進んでいる。井上教授の下、大学院生らが、米国の先達の著作を共同で訳した労作が本書だ。

議論の定義や、根拠の明示の仕方から始まり、「事実・価値論争」や「政策論争」の展開法、さらには日本でも定着した感のある教育ディベート(アカデミック・ディベート)などを、詳細に論じる。議論はコミュニケーションの重要な一部。おそらく著者たちはそう確信しているにちがいない。

(花書房、2500円)